



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU  
会津ワイズメンズクラブ  
CHARTERED ON FEB. 1993



2018～2019 年度主題

国際会長	Moon Sang Bong(韓国)	「私たちは変えられる」
アジア地域会長	田中博之 (東日本区)	「アクション」
東日本区理事	宮内友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば成る」
北東部部長	涌澤 博 (仙台青葉城)	「チャンス到来 我ら北東部から世界へ」
会津クラブ会長	青山孝男	「力の限り この地の塩として！」

<No.282 会津通信>  
2018年10月9日発行

会長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書記	高橋真人
会計	高橋真人

◇10月の聖句◇

わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思ってはならない。廃止するためではなく、完成するためである。

マタイ福音書5章 17 節

10月例会

日時:2018年10月9日(火)19:00～

場所:若松栄町教会

司会:高橋 京子さん

- |                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 1.開会点鐘                                | 会長 |
| 2.ワイズソング                              | 一同 |
| 3.会長あいさつ                              | 会長 |
| 4.連絡・報告                               |    |
| 5.聖句朗読                                |    |
| 6.食前感謝                                |    |
| 7.歓談                                  |    |
| 8. Happy Birthday! Happy Anniversary! |    |
| 10/2 青山孝男                             |    |
| 9.閉会点鐘                                | 会長 |

「美しい地球、人類はまもれるのか？」

高橋 京子

暑い夏が急に秋になって涼しくなり、ホッとしたのもつかの間、夏返りしたような暑さがぶり返す。

会津平野はこの夏、大雨や風の被害地とは逆に、干ばつで心配した。



一級河川の大川(阿賀川)の水は枯れ、川底がひび割れ天然記念物の魚類も絶滅が危惧された。

上流のダムも水量が14%を割り水底の深いところに水があるのみでダム底はひび割れた。釣りを楽しむために放流するアユも逃げ隠れる程の水もなく、放流したとたん鳥の大群に食べられてしまう事態となるのを、どうすることもできなかった。その後数回の降雨で、回復できたものの、稲は半月も早く稔って、ひび割れたものも多いと聞く。魚沼産米にもひけを取らない会津米は例年最高ランクの評価を受ける。しかし、今年はそれを望めないのではないかと農家を嘆かせている。

先日、温暖化が進んで地球全体の温度が1度上がっているとの報道があった。温暖化の実害が刻々と迫っているのではないかと、不気味に思うこの頃である。(次回は高橋真人さん)

<9月例会出席状況>

在籍者 5名 ゲスト0名

出席者 4名

\*例会出席率 80%

あかべこ	4,000円
18-19年度合計	8,000円

《例会》

毎月第2火曜日 19:00～21:00

若松栄町教会 (☎0242-27-3944)

## 9月号報告(東日本区報より抜粋)

### 理事メッセージ



#### 宮内友弥 (東京武蔵野多摩)

日増しに秋が深まり、朝夕は冷え込むようになってまいりましたが、皆さまにはご健勝にご活躍のことと拝察します。今夏は例年になく高温が続く、各地で台風、豪雨などの異常気象に見舞われました。9月に入っても強い

台風や集中豪雨が各地を襲い、北海道地震が発生し今も余震が続いています。

被災された皆様に、心からお見舞い申し上げますと共にこれ以上の災害の拡大が無いことを祈ります。私も7月、8月の猛暑が祟ったのか9月初めより体調を崩し、皆様にご心配とご迷惑をおかけしておりました。その後2週間ワイズのことも休ませていただき自宅で静養、溜まっていた疲労もすっかり取れて復帰しましたので、遠慮なく今まで通りこき使ってくださいますようよろしくお願いいたします。かかりつけの医者にも年齢を自覚しろと一喝されましたが、今回残念ながら体力の衰えを思い知らされました。このことも事実として受け止めながら皆様と共にワイズの発展に邁進したいと思っております。

## 会津だより

### 第22回北東部 部大会開催



去る9月22日、ガーデンシティ仙台にて仙台ワイズメンズクラブ70周年記念祝賀会も併せて開催された。会津クラブからは久々に青山会長、高橋京子ウィメンの2名が参加。全体で

80余名の参加があり、バナーセレモニーからスタートし涌澤部長のあいさつ等々があり、基調講演は、仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク「東北ヘルプ」事務局長の川上直哉氏。演題は「福島と東北キリシタン」。歴史や史跡を用意したリーフレットをもとにユーモアを交えながら熱く話して頂きました。懇親会に移り仙台の郷土芸能「雀踊り」でスタート、テーブル毎の交流から会場内の交流は楽しくワイズならではの雰囲気でした。(青山)

### 少年の主張「会津若松市大会」より

「未来は変えられる」河東学園小6年 星美月さん (前号より)

こわくてそんなこと言えなかったのです。少し前の私なら、あの日にもどって、「私は、絶対にやらない」と、はっきりと言ってやりたかったでしょう。でも、6年生になってだんだん「過去は変え

られない。変えられないのなら、未来を変えよう」と思うようになりました。その思いを強くさせたのが、6月末に学校で行われた再生医療の出前授業でした。岡山大学の佐藤先生が、ウーパールーパーの手を再生させた標本を見せてくれたり、先生が発見した薬の説明をしてくれたり、最先端の再生医療についてくわしく説明してくださいました。その中で先生は、「少し前は考えられなかったことが、たった20年で現実になっている。世の中はものすごいスピードで変化している。これから20年で世界はもっと変わっていくはずだよ」と話していました。そして佐藤先生は目を輝かせながら、しかもほこらしげに「ぼくは未来を変えたいんだ。科学者は未来を変えられる職業なんだ」と言いました。その言葉を聞いた時、「自分から未来を変えたいなんて言う人がいるんだ。すごいなあ。私も誰かの未来を変えたい」。こんな思いが心の中にわいてきたのです。私の思いは過去から、未来を変えるという考え方に変わったのです。もう私は、どんなにつらく悲しくなっても過去にもどりたいとは思わないでしょう。だって、どんなふうにも変えられる未来があるから。今の私は未来の自分を想像して、相談相手の母にいつも話しています。「私は将来、警察関係の仕事につきたいんだ。検事とか。どうかな」。母はおもしろそうに聞いてくれます。「だって、誰かの未来を変えることができるんだよ。悲しい思いをした人たちを助けて自分の未来をしっかりとみつめられるようにすることができる仕事じゃない」

(以下次号)

### 会津の先人たち(会津若松市HPより)

#### 世界的陶芸家を育てた女性

板谷 まる (1870~1958)

#### 板谷波山(いたや はざん)をつくった女性

二人で力を合わせ

初窯での成功や勸業博覧会への入選を果たしますが生活苦は続き、そのため飛鳥焼といって、住んでいた地名から名付けた食器を波山が焼き、まるがそれを売り歩いたり、玉欄の画号でマジョリカ焼の陶器の下絵をかいたりして家計を支えました。

明治44年の夏、二人は皇后陛下に招かれて御前制作をするまでになっていましたが、参内した時のまるの格好は浴衣姿のひつつめ髪という普段着のままでした。波山は昭和5年にフランス大統領から勲章を贈られたり、この後、文化勲章を受賞したりして、世界的な陶芸家として認められることとなります。シリーズ「会津の先人たち」は今回で終了します。

### ☆ 今後の予定 ☆

- ◇ 11月例会 11月13日
  - ◇ ユニークダンス
    - ・11月例会 11月28日
- 場所：アガッセ